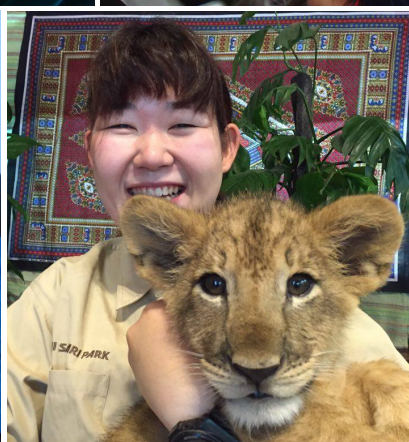
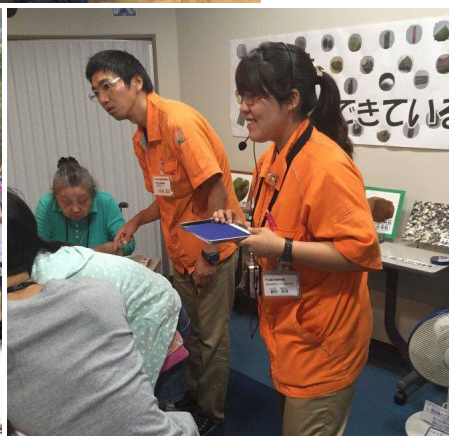


# 博物館と学芸員

を目指す



博物館で活躍する卒業生  
生産男子 アクア女子  
串本海中公 長岡市寺泊  
園センター 水族博物館  
アクア男子 生産女子  
小樽水族館 富士サファ  
リパーク  
生産女子 アクア女子  
富士サファ 多摩六都  
リパーク 科学館  
写真は各自の提供です



**2.1%**。これが当課程の新卒者が、契約職員以上の身分でミュージアムに就職した実績である。実数では241名中の5名である。2014年卒業者から就職者が出ていないので、このところ就職率は下降の一方であるが、それでも実態調査に基づく全国平均0.6%の3倍以上の数字である。2013年3月の時点では、132人の修得者に対し、同等の待遇で博物館等に職を得ていたのは5人、博物館への就職率は3.8%となり、これが最大瞬間風速であった。転職や臨時職員、水族館などに一時的にでも在職していた卒業生は現時点で13人、昨年までの単位修得者206名で割ると含める6.3%、16人に1人となる。このあたりが現実的な数字に思える。新卒でなくとも、何らかの形で博物館や動物園、水族館で仕事ができるチャンスは、案外高いのかも知れない。

**就職者**が何人いるのか。大学の学芸員養成課程はいつも問い続けられている。学芸員養成は学究の場でなく、資格課程であるので、就職人数が評価の第一基準である。言ってしまうと、学芸員を輩出しない課程では存在意義がないのである。学芸員は、社会教育機関としての博物館で働く専門職員である。そのための知識や技能、経験を生かしたノウハウは養成課程で学ぶが、いわゆる専門というのは学部学科での教育で修得するのである。一部の私立大学では、日本美術史や考古学関係の単位取得を学芸員資格の要件とし、卒業生は文化財保護法で義務付けられた緊急発掘の現場を渡り歩き、地方の博物館に就職するというコースがあった。考古学が専門で発掘調査の出土資料を展示する博物館の学芸員。ひとつの類型としてそれがあった。

**自然史系**の学芸員が現れるのは、北海道の地方では1970年代末のこと。団塊世代の彼らはすでに退職したが、自然史学芸員のイメージは特定少数の彼らが作り上げたものだ。現在の若手学芸員はそのイメージを持って就職し、そして新たな形を展開しつつある。自然再生、関連団体のコーディネート、美術制作など、個性を生かし、第一世代には見られなかった新しい学芸員の姿が見えてきた。もちろん美術館にも学芸員がいる。資料の採集や製作ではなく、市場価値を有する人類の到達点を、世界の隅々から交渉を重ねて実現する特別展を最大の仕事とする。彼らの姿は、考古学とも自然史系とも異なる学芸員のイメージを体現している。

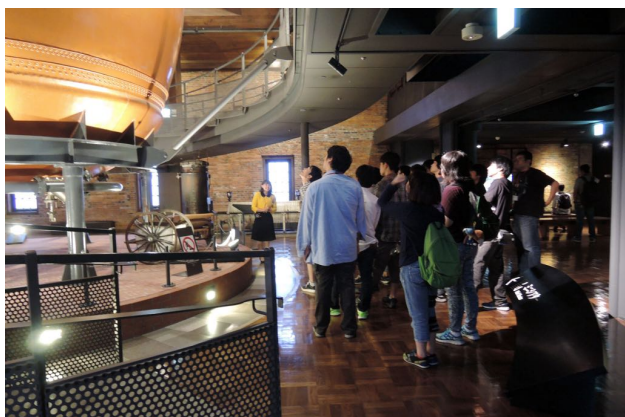
**動物園水族館**の学芸員像は、いまだ明らかではない。解説や教育事業の担当者としての姿はあっても、外に名前が聞こえる学芸員は現れない。仕事の主役は飼育員であり、至高の専門家に獣医師がいて、方向性は園長が決める。その狭間にあつて、学芸員は、いまだ迷いの中にいる。動物の飼育を目的とする機関の学芸員とは何者か。その問いに答えるのが、これからの仕事である。何かが見えてきたならば、そっと教えて欲しい。後に続くものがあるのだから。

## 1. 開講科目

科目名	単位	開講年次	担当教員	教科書
博物館概論	2	1年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館教育論	2	1年後期	入宇田尚樹・宇仁義和	小澤周三編1998『教育学キーワード』
博物館資料論	2	2年前期	渡部 裕	全博協西日本部会編2012『新時代の博物館学』
生涯学習概論	2	2年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館資料保存論	2	2年後期	渡部 裕	石崎武志2012『博物館資料保存論』
博物館展示論	2	2年後期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館情報論・メディア論	2	3年前期	宇仁義和	波多江潤子2012『新詳細DTP基礎改訂三版』
博物館経営論	2	3年後期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館実習	3	3・4年通年	宇仁義和	オリジナルプリント

## 2. 館園見学

学年	見学施設	分野	設置者・博物館法による区分
1年	博物館網走監獄	建築・歴史	私立・登録
1年	網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館	総合・考古	公立・登録
1年	北海道立北方民族博物館	民族・考古	公立・登録
2年	釧路市動物園	動物園	公立・類似
2年	釧路市立博物館	総合	公立・登録
2年	エコセンター2000	公民館	—
2年	網走市立美術館	美術	公立・登録
2年	足寄動物化石博物館	自然史	公立・類似
3年	網走市立郷土博物館丸万収蔵庫	産業史・民俗	公立・登録
3年	美幌博物館	総合	公立・登録
3年	旭川市科学館	科学館・プラネタリウム	公立・登録
3年	サッポロビール博物館	企業博物館	私立・類似
3年	北海道大学植物園・博物館	植物園・自然史	国立・相当
3年	札幌市円山動物園	動物園	公立・相当
3年	小樽水族館	水族館	私立・相当
3年	北海道大学総合博物館	ユニバーシティミュージアム	国立・類似
3年	北海道博物館	総合	公立・類似



銅製の巨大な麦汁煮沸釜（サッポロビール博物館・札幌）



タンチョウを観察する「北海道ゾーン」（釧路市動物園）

### 3. 授業内容

#### 1) 特別授業：外部講師による講義

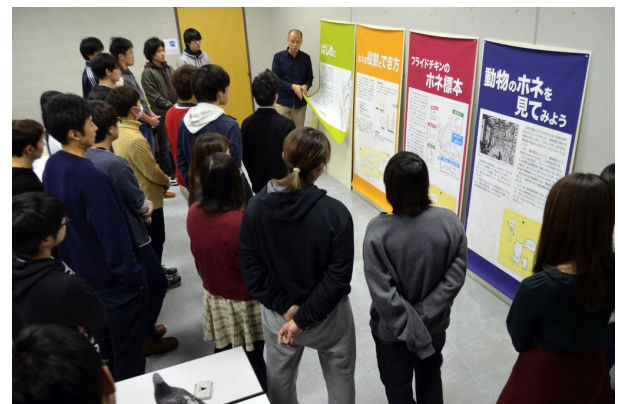
##### (1) 博物館経営論

標津サーモン科学館の市村政樹館長による講義を、12月8日に3年生科目「博物館経営論」で実施した。H25年度からNPO法人サーモンサイエンスミュージアムの理事長として同館を運営してきた経験、小学校と連携したサケの一生を体験する教育事業、チョウザメに関する大学との共同研究、自然河川での産卵状況調査など、地域を舞台にした幅広い高い活動は学芸員の可能性を大きく示す内容であった。論文や学会発表の内容も紹介された。今年度で3回目である。



##### (2) 博物館展示論

本学部の卒業生である美幌博物館の町田善康学芸員（生物生産学科H14年度卒業）による講義を、12月13日に2年生科目「博物館展示論」で実施した。同館がH23年度に実施した企画展「テーブルの上のホネ展～ようこそホネホネ食堂へ～」を題材に、展示資料の作成、収蔵資料の活用、バナーのデザインなどを解説した。教材として展示に用いられた骨格標本や剥製、ワークシートなどを使用したほか、計画中の特別展のタイトルを考える課題などに取り組んだ。今年度で4回目となった。



##### (3) 博物館教育論

こちらも本学部の卒業生である知床財団の荒木敬博氏（生物生産学科H14年度卒業）による講義を、12月14日に1年生科目博物館教育論で実施した。知床財団が独自に開発したヒグマ学習用トランクキットを用い、使用方法や教育上の効果などを解説した。骨格や毛皮に加え調査用の電波発信機など多彩な実物資料を直に手に取って学ぶことが出来た。昨年に引き続き2回目であるが、正式な外部講師としては今年が初めてである。



### 4. 第6回農大口ビー展「食べられる虫たち」

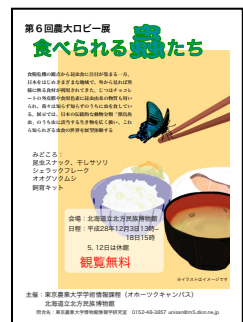
3年生の学内実習として2011年度から毎年実施しているものである。テーマの虫は、昆虫に限らず、魚鳥獣に属さない動物と広く考えて展示シナリオを作成した。

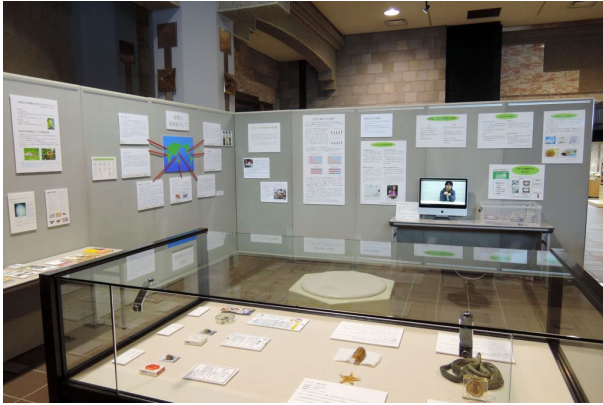
期間：2016年12月3～18日（11日間）途中臨時休館日あり

会場：北海道立北方民族博物館 特別展示室

主催：東京農業大学学術情報課程（オホーツクキャンパス）・北海道立北方民族博物館

おもな展示資料：昆虫スナック、干しサソリ、ミドリムシ食品、シェラックフレーク、オオグソクムシ乾燥標本、原材料に昆虫を用いた飲料と市販薬、FAOの昆虫食関連レポート、試食体験ビデオ  
ポスターイラスト：桑畑由衣





展示場全景 資料のほか試食体験ビデオを展示した



学術情報課程1年生による見学会の様子

## 5. 館園実習

本年度の実習生は32名（3年生32名）、受入先は北海道4館13名、宮城県1館1名、群馬県1館1名、東京都2館2名、神奈川県1館1名、静岡県2館2名、愛知県1館1名、三重県1館1名、大阪府1館1名、和歌山県1館2名、兵庫県1館1名、岡山県1館1名、島根県1館1名、鹿児島県1館1名、沖縄県3館3名であった。本学の館園での実習者はおらず、全員が学外の施設で実習をおこなった。例年どおり実習者32名のうち25名が飼育施設での実習（動物系5・水族系20）と多く、博物館や研究所での実習者は7館7名であった。

お忙しいなか、実習生を受け入れてくださった館園にお礼申し上げます。

学籍番号	氏名	館園名	実施期間
○生物生産学科 3年生8名			
42214000	男子学生	宍道湖自然館ゴビウス	2017.1.4～15
42214000	男子学生	美幌博物館	2016.8.6～17
42214000	女子学生	羽村市動物公園	2016.8.7～14, 9.1～8
42214000	女子学生	池田動物園	2016.8.15～25
42214000	女子学生	大阪市立自然史博物館	2016.8.17～21
42214000	男子学生	ジャパンスネークセンター	2016.8.25～9.4
42214000	男子学生	ネオパークオキナワ名護自然動植物公園	2016.10.15～25
42214000	古屋 薫実	進化生物学研究所 10/17-27	2016.10.17～27
○アクアバイオ学科 3年生23名			
42314000	男子学生	いおワールド鹿児島水族館	2016.8.18～31
42314000	男子学生	姫路市立水族館	2016.12.18～22
42314000	男子学生	碧南水族館・碧南市青少年海の科学館	2016.8.18～24
42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.8.15～25
42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.10.25～11.4
42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.10.16～26
42314000	男子学生	体感型動物園 iZoo	2016.9.5～18
42314000	男子学生	足寄動物化石博物館	2016.8.9～16
42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.10.25～11.4
42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.8.8～18
42314000	女子学生	串本海中公園	2016.10.18～28

42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.10.25～11.4
42314000	女子学生	オホーツクとっかりセンター	2016.8.25～9.4
42314000	男子学生	横浜・八景島シーパラダイス	2016.12.25～2017.1.9
42314000	女子学生	沖縄海洋博記念公園・美ら海水族館	2016.11.8～15
42314000	男子学生	仙台うみの杜水族館	2016.8.10～19
42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.8.8～18
42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.11.5～15
42314000	男子学生	標津サーモン科学館	2016.11.5～15
42314000	女子学生	串本海中公園	2016.10.18～28
42314000	女子学生	伊豆・三津シーパラダイス	2016.9.6～17
42314000	男子学生	三重県総合博物館 MieMu	2016.8.17～21
42314000	女子学生	黒島研究所	2016.9.11～24
○地域産業経営学科 3年生1名			
42514000	男子学生	斜里町立知床博物館	2016.9.6～16

### 館園実習の様子から



アカウミガメの背甲の清掃（串本海中公園・和歌山）



飼育水槽の水替え（進化生物学研究所・東京）



展示室の解説練習（黒島研究所・沖縄）



再入館スタンプを押す（いおワールド鹿児島水族館）

○これまでの博物館実習受入館園

博物館実習受入館園の県別数

北海道 16

青森 2、岩手 1、宮城 2、秋田 1、山形 1、福島 1

茨城 2、栃木 1、群馬 5、埼玉 2、東京 10、千葉 1、神奈川 7

新潟 3、長野 3、静岡 3

愛知 2、岐阜 1、三重 2、福井 1

大阪 2、兵庫 2、和歌山 3

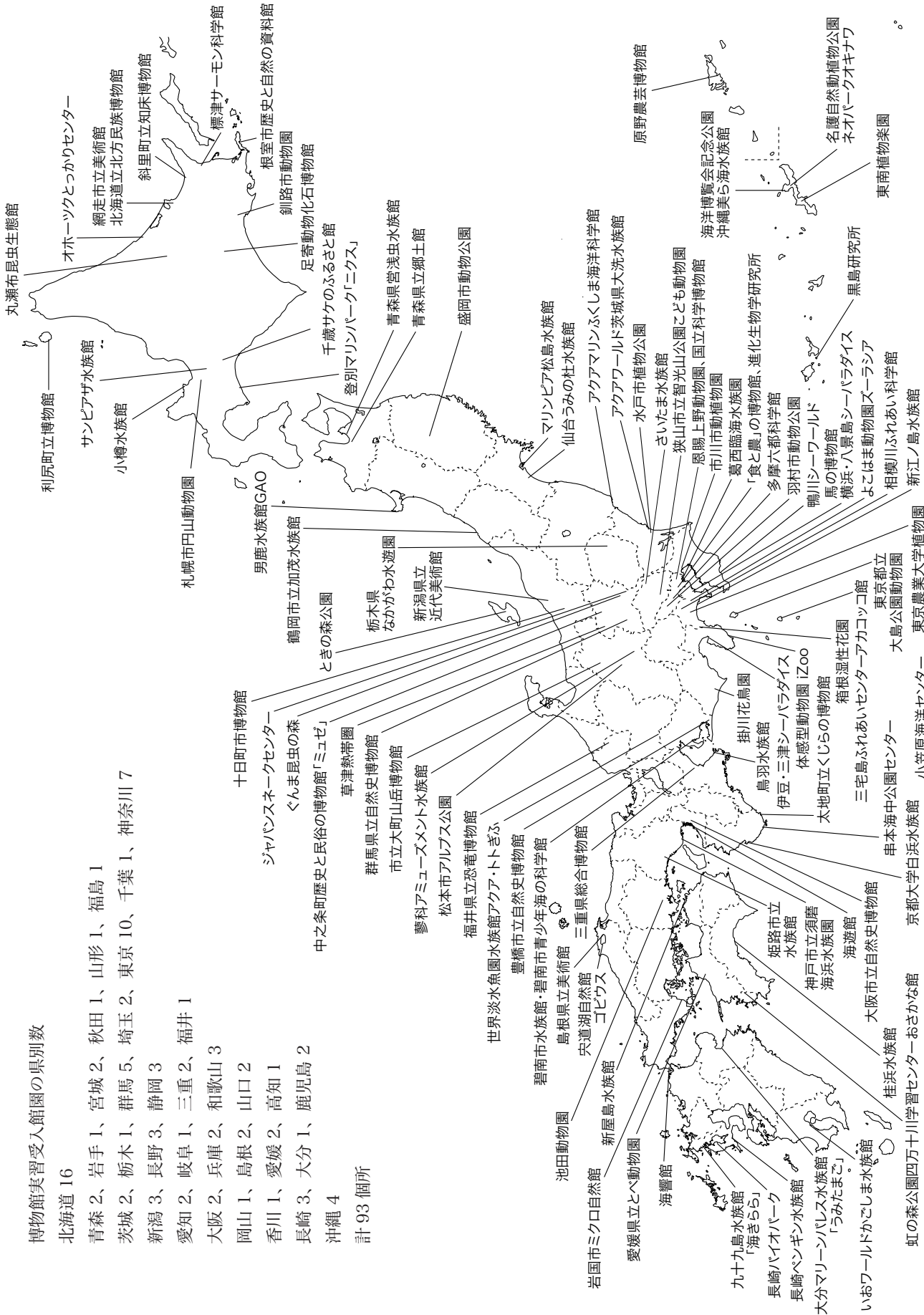
岡山 1、島根 2、山口 2

香川 1、愛媛 2、高知 1

長崎 3、大分 1、鹿児島 2

沖縄 4

計 93 箇所



## 6. 年間カレンダー

2016年

- 4月13日 受講希望者向け説明会  
4月20日 教職・学術情報課程委員会（全体会議）  
5月11日 網走市立郷土博物館丸万収蔵庫見学（3年生）  
5月17日 受講学生決定  
5月27日 美幌博物館見学（3年生）  
6月7・9日 エコーセンター2000および網走市立美術館見学（2年生）  
6月17・18日 全国大学博物館学講座協議会全国大会に参加（四国大学・徳島）  
6月21日 北海道立北方民族博物館見学（1年生）  
6月28日 網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館見学（1年生）  
7月 2日 釧路市動物園および釧路市立博物館見学（2年生）  
7月 5日 博物館網走監獄見学（1年生）  
9月6～8日 札幌館園見学旅行（3年生）  
10月22日 全国大学博物館学講座協議会東日本部会に参加（東海大学湘南キャンパス）  
11月11日 「学生インタビュー先輩の来た道」（学術情報課程通信第5号）取材  
11月12日 足寄動物化石博物館見学：展示室解説および化石レプリカ作成（2年生）  
12月3～18日 第6回農大ロビー展「食べられる虫たち」 会場：北海道立北方民族博物館  
12月8・14日 第6回農大ロビー展見学会（1・2年生）  
12月 8日 特別授業1：標津サーモン科学館・市村政樹館長 3年生「博物館経営論」  
12月13日 特別授業2：美幌博物館・町田善康学芸員 2年生「博物館展示論」  
12月14日 特別授業3：知床財団・荒木敬博公園事業係 1年生「博物館教育論」  
2017年2月16日 教職・学術情報課程委員会（学術情報課程）

## 7. 博物館などへの採用実績

### 【新卒者】契約職員以上

富士山こどもの国（静岡県）生物生産学科2013年3月卒女1名（2014.4月から富士サファリランド）  
富士サファリランド（静岡県）生物生産学科2013年3月卒女1名（採用時は営業職、翌年から飼育担当）  
小樽水族館（北海道）アクアバイオ学科2013年3月卒男1名 2013.4月採用  
長岡市寺泊水族博物館（新潟県）アクアバイオ学科2011年3月卒女1名 2011.4月採用  
串本海中公園センター（和歌山県）生物生産学科2011年3月卒男1名 2011.4月採用

### 【既卒者・科目等履修生】契約職員以上

さいたま水族館（埼玉県）アクアバイオ学科2012年3月卒男1名 2016.4月採用（3年間臨時職員の後）  
多摩六都科学館（東京都）アクアバイオ学科2010年3月卒女1名 2015.4月採用（1年間臨時職員の後）  
釧路市立博物館（北海道）生物生産学科2003年3月卒男1名 2013.4月学芸員採用（2年間水族館勤務の後）  
美幌博物館（北海道）生物生産学科2003年3月卒男1名 2010.7月学芸員採用（約2年間非正規職の後）

### 【臨時職員等】

札幌市円山動物園／オホーツク流水館／のぼりべつクマ牧場／えりも町郷土資料館（以上、北海道）／南三陸町自然環境活用センター準備室（宮城県）／十日町市博物館（新潟県）／海遊館（大阪府）など